



かんせいちゅうがっこう

寛政中学校だより

だいごう
第8号

れいわ ねん がつ にち かんせいちゅうがっこう
令和7年 12月25日 寛政中学校

「真の強さ」とは -大谷翔平選手の行動から考える-

こうちょう なかむら まさかず
校長 中村 雅一

きょう、がつ にち ねん きいご ぜんこうしゅうかい はな ないよう かひつ とど
今日、12月25日、2025年、最後の全校集会でお話した内容に、加筆してお届けします。

しゅうかい ぼうとう みな つぎ しつもん
集会では冒頭、皆さんに次のような質問をしました。

「もし、悪口を言われたら……、もし、つらいことをされたら……、あなたは、どうしますか。」

「やり返す」「にらみ返す」「どうして？と理由を聞く」「我慢する」「誰かに相談する」「訴える」など、答えはさまざまだと思います。

さて、アメリカ大リーグ・ドジャースで活躍する大谷翔平選手の身に、悪口どころではない出来事が起きました。それが、今年6月のパドレス戦、9回裏、大谷選手の打席での出来事でした。どんなことが起きたのでしょうか。そして、彼はその出来事に対して、どのように振る舞ったのでしょうか。

大谷選手は、相手ピッチャーから時速160キロ近いストレートボールを右肩の下に受けました。いわゆる危険なデッドボール（死球）です。二刀流の投手として復帰し始めたばかりの時期でもあり、選手生命に関わりかねない場面でした。

球場の誰もが、「乱闘になる」と思ったそうです。なぜなら、直前の回にはドジャースの投手がパドレスの主力選手にデッドボールを与え、両軍がベンチから飛び出し、一触即発、あわや乱闘になりかけていたからです。そのため、審判は両監督を退場処分にし、「警告試合」を宣言していました（「警告試合」とは、これ以上続けば退場や没収試合もあり得ると宣言し、報復合戦を防ぎ、試合を冷静に終わらせるための措置です）。

その直後に起きた大谷選手へのデッドボール。球場にいた多くの人が「わざと、狙ってぶつけたのではないか」と感じ、報復行為だと思いました。今度こそ両軍が乱闘になるだろうと、球場全体に異様な空気が漂いました。

では、このとき大谷選手は、どう行動したのでしょうか。怒りを表に出すことはありませんでした。声を荒げることも、相手をにらむこともありませんでした。自分のチームのベンチに向かって左手を挙げ、「落ち着いて。出て来なくていい。」という合図を送り、ベンチから飛び出そうとする仲間を制止しました。そして、何事もなかったかのように一塁へ歩き出しました。直後、相手ピッチャーは退場になりましたが、大谷選手はさらに、試合再開までの間に相手ベンチに歩み寄り、知り合いの選手に笑顔で声をかけたり、一塁のベース上で相手選手に手を差し伸べ、握手を交わしたりしました。本来なら怒りがこみ上げる場面です。しかし彼は、怒りではなく「冷静さと敬意」を選びました。結果として、あわや乱闘、没収試合になる事態を防いだのです。それだけではありません。「やられたらやり返す」という、長く続いてきた大リーグに根強く残る考え方に対して、静かな「無言の問い」を投げかけました。この行動は世界中で話題となり、多くの人から称賛されました。

私はこの大谷選手の行動を知り、考えました。真に強い人とは、どんな人なのだろうか。力や暴力で相手をねじ伏せることが「強さ」ではありません。感情に流されず、自分をコントロールし、周りを落ち着かせ、相手

を尊重すること。そこに本当の、真の強さがあるのではないのでしょうか。

では、私たちは、どうしたらよいのでしょうか。どうすれば、争いを広げずにすむのだろうか。争いを終わらせるには。そして、報復の連鎖を断ち切るには、どうしたらよいのか。そのことを、一人一人が、心の中で考えてみてほしいと思います。

近頃、政治の世界では「日本をなめるな」「なめられてたまるか」といった勇ましい言葉を耳にすることがあります。しかし、本来、政治の責任は対立を調整し、平和な秩序を築くことにあります。失敗すれば、スポーツの乱闘どころでは済みません。憎しみに憎しみを返すことは簡単ですが、それでは争いが続くだけです。

実はこの出来事には、集会では話せなかった続きがあります。

① スアレス投手の後悔を救った大谷選手の言葉

デットボール（死球）を投じたピッチャーは、MLB本部によって「故意死球」と認定され、2試合の出場停止処分を受けました。「自分が大谷選手を傷つけた」という罪悪感に苦しんでいた彼のもとに、パドレスのダルビッシュ有選手を介して、大谷選手からメッセージが届きます。

「気にするな。大丈夫。」---彼はその言葉に救われたと語っています。

② シルト監督への大谷選手の「無言の意思表示」

また、大谷選手は毎試合、最初の打席に入る際、球審だけでなく、相手チームの監督にも必ずヘルメットのつばに手を当てて挨拶をするのを礼儀としています。しかし、この試合以降、シルト監督にだけは挨拶をしなくなった、と報じられています。敬意とは互いに示し合うものだと考えた大谷選手が、超えてはならない一線を感じ取った上での、「無言の意思表示」だったのかもしれませんが。

なお、シルト監督はシーズン途中で自ら退団しました。この出来事が理由であると断定することはできませんが、真実は本人のみが知るところです。

これらの後日談からも、大谷選手が

- ・暴力には暴力で返さないこと
- ・相手を人としての尊重すること
- ・自分の信念を静かに示すこと



①スアレス投手の後悔を救った大谷選手の言葉



②シルト監督への大谷選手の「無言の意思表示」

を大切にしている人であることが伝わってきます。

最後に、もう一度、皆さんに問いかけます。

「もし、大谷選手の立場だったら。もし、悪口を言われたら。もし、つらいことをされたら、どうしますか。」

「やりかえさないことは、弱さでしょうか。立ち止まることは、逃げでしょうか。」

人は誰でも、嫌なことをされたら腹が立ち、反発したくなります。しかし、そのときに立ち止まり、「どうすれば平和に終わらせられるか」「自分はどうかしたいか」を考えられる人こそ、本当に「強い人」なのではないでしょうか。大谷選手の姿は、まさに「人権」を大切にする行動です。相手のミスや過ちを一方的に責めず、相手にも人としての尊厳を認める態度。そこにスポーツマンシップと、人としての深い思いやりを感じます。

冷静に自分を保つこと。「やめよう」と言う勇気を持つこと。先生や友だち、保護者の方に相談すること。それらも立派な「強さ」です。大谷翔平選手の行動から、ぜひ「真の、本当の強さとは何か」を心の中で考えてみてください。それでは、寛政中生の皆さん、良い年末年始を迎えくださいね。 Have a wonderful year!

末筆ながら、保護者、地域の皆様、本年も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。2026年が皆様にとって良い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

がっこうほけんいいんかい

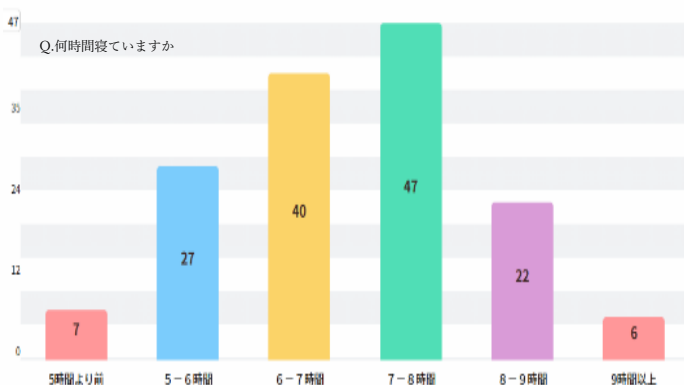
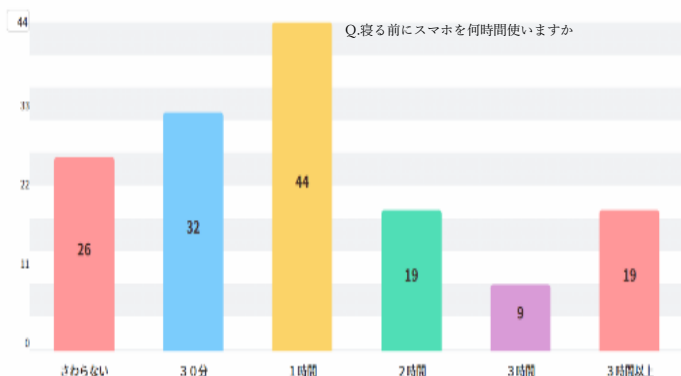
学校保健委員会

11月20日に学校保健委員会が行われました。今年は「睡眠」をテーマにしており、保健美化委員による発表を行いました。

以下に事前アンケートの結果の一部と振り返りに寄せられたコメント、および学校保健委員会を運営した保健美化委員会委員長の言葉を掲載します。



- ・睡眠は心にも体にも大きい影響があるんだと知れました。
- ・睡眠時間が長いほうが記憶の定着が良い。
- ・寝る直前にスマホを見たり、なにか食べたり、お風呂に入らない。なるべく数時間か前に済ませる。



事前アンケートの結果で、「金縛りが起こるのはなぜか」という疑問があり、私自身も確かにわからないなと思いました。保健美化委員の活動で睡眠について調べたり、他学年の発表を聞いたりしていく中でより睡眠について深く知りたいと思うようになりました。みなさんもこの機会に睡眠を大切にしてください。

保健美化委員会委員長 古賀花穂

せいとかいほんぶやくいんせんきょ おこな

生徒会本部役員選挙を行いました

令和7年度生徒会選挙が12月10日(水)に行われました。選挙に関わる活動として、11月下旬から、立候補者と応援者が朝学習の時間に各クラスで演説を行い、直接生徒たちに自分の考えや生徒会役員として取り組みたいことを伝えました。クラス演説では、各クラスの選挙管理委員会の生徒が司会進行を務めました。選挙権が18歳に引き下げられ、より一層選挙の大切さを理解することが必要になってきます。本校では鶴見区で実際に使用されている投票箱と記載台をお借りして、投票を行っています。

一人一人が、代表者を自分自身の一票で決めることの重みを理解し、正しい選挙のあり方を身に付けて投票に臨みました。



じどうせいとこうりゅうび 児童生徒交流日



12月11日(木)の午後、入船小学校と汐入小学校の6年生が寛政中学校を訪問し、授業と部活動を見学しました。小学生の感想を一部紹介します。

- ・授業が分かりやすそうだったし、みんながまじめに勉強している感じがして、すごいなと思いました。
- ・数学の授業が難しかったけど楽しかった。他の授業もやってみたい。
- ・いろいろな部活動があって、それぞれいいところがあった。授業も楽しみだけど、部活動も楽しみです。
- ・バスケ部がノリノリで楽しそうだなって思いました。
- ・理科ではギターなど物を使った実験をしていて、あきずに授業できそうだなと思いました。
- ・先輩の人たちがわからないことでも教えてくれたり、励ましてくれたりした。みんな真剣にやっていてすごいなと思いました。
- ・どの部活もおもしろそうだけど、音楽、バドミントが楽しそうでした。

小学生の皆さん、4月に中学校でお待ちしております！

1月の主な予定

1月7日(水)	授業開始	19日(月), 28日(水)	放課後学習会
7日(水)～9日(金)	教育相談①～③	23日(金)	1年校外学習(東京方面)
13日(火)	教育相談④	29日(木)	個別級合同学会(西公会堂)
15日(木)	校内授業研究会(1年)	30日(金)	3年学年末試験
16日(金)	防災訓練(不審者対応)		

スクールカウンセラー来校日：8日(木)、13日(火)、15日(木)、20日(火)、22日(木)、27日(火)

相談室直通電話：045-511-0967 (火：柳澤SC、木：池澤SC)

来校日に留守番電話のメッセージを確認します